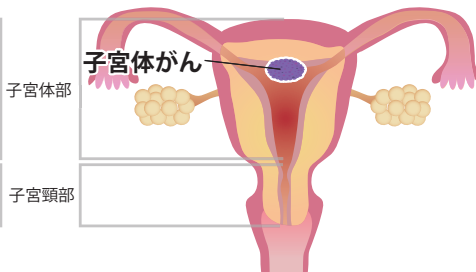
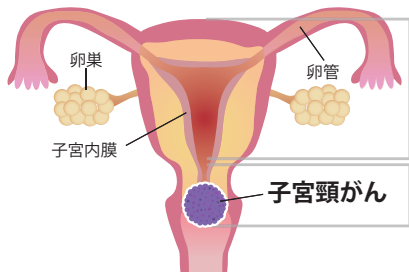


■ 子宮がんができる位置

子宮がんは2種類

子宮の入口付近に発生する…**子宮頸がん**

子宮の奥で発生する…**子宮体がん**



*子宮体がんについては4Pで解説します。

■ 子宮頸がんの主な原因ウイルス

ヒトパピローマウイルス(HPV)

ハイリスクの型

HPV 16・18・31・33・35・39・45・51・52・56・58・59・66・68型など
子宮頸がんの原因となる型(頸がんの60～70%がHPV 16・18型)

ローリスクの型

HPV 6・11・42・43・44型
尖圭コンジローマなどを発症する

★ヒトパピローマウイルス(HPV)は、型によって発症する病気が全く異なります(ハイリスク型・ローリスク型)。

ハイリスク型が
たくさんある
ビッ…



感染を予防することが、
がんリスク回避の
手段です!!



感染予防の
方法を知りたい
ビッ



「子宮頸がん」と「子宮体がん」
全く別の病気って、知っていましたか?

監修

千葉県医師会理事

伊豫正人 医師



子宮のがんには、子宮の入り口近く(頸部)にできる「子宮頸がん」と、子宮の奥(胎児が育つ部分)にできる「子宮体がん」の2種類があります。

ひとまとめに「子宮がん」と呼ばれることも多いものの、この二つのがんは、原因も発症のメカニズムも全く異なる別々の病気だということを覚えておきましょう。

多くの女性の命と人生を脅かすこの二つの病気について、きちんと知っておきましょう。

▼子宮頸がんとは?

日本では、毎年約一万人もの女性が子宮頸がんにかかり、約二八〇〇人が命を落としています。他のがんに比べ若い世代での発症率が高く、20代から増え始め、命は助かっても、がん治療で子宮を失い妊娠できなくなったり、子宮の一部をとる手術をしたことで早産・流産のリスクが高まったりします。

早期には自覚症状がほとんどなく、進行してから、異常なおりもの、月経以外の不正出血、性行為の際の出血、下腹部の痛みなどが現れます。

子宮頸がんの主な原因は、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染で、主に性交渉を通じて感染します。

とはいえ、HPVというのはどこにでも存在するごくありふれたウイルスです。一度でも性交渉の経験があれば男女を問わず感染の可



予防策があったピッ！
心強いピッ♪

■ 感染予防の方法

現在の感染予防策としては、HPV ワクチン接種があります。

HPV ワクチンについて

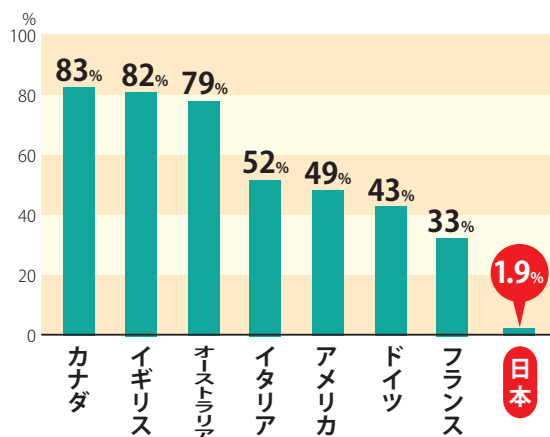
世界では 120 か国以上で使用されています (2022 年 12 月時点)。

日本は、3 回目まで接種が済んだ割合は 1.9%*と極端に低いことがわかります。

※ 数値は、厚生労働省「定期の予防接種実施者数」より

出典：広報誌「厚生労働」2022 年 5 月号特集 (mhlw.go.jp) HPV ワクチンについて知ってください 子宮頸がん予防の最前線 より
https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou_kouhou/kouhou_shuppan/magazine/202205_00001.html

HPV ワクチンを接種した女の子の割合 (2019 年)



[HPV ワクチンの種類と有効な型]

ワクチンの種類	有効な HPV 型	ローリスクの型		ハイリスクの型						
		6 型	11 型	16 型	18 型	31 型	33 型	45 型	52 型	58 型
9 価(ワクチン名: シルガード®9) 頸がんの原因の 80 ~ 90%を 防ぐといわれています		●	●	●	●	●	●	●	●	●
4 価(ワクチン名: ガーダシル®) 頸がんの原因の 50 ~ 70%を 防ぐといわれています		●	●	●	●	×	×	×	×	×
2 価(ワクチン名: サーバリックス®) 頸がんの原因の 50 ~ 70%を 防ぐといわれています		×	×	●	●	×	×	×	×	×

▼ 子宮頸がん撲滅も可能にするワクチン

日本では患者数が増加し続けている子宮頸がんですが、オーストラリアでは 2028 年には子宮頸がんが撲滅されるだろうと予測されています。この大きな違いを生み出しているのが HPV ワクチン (子宮頸がんワクチン) の接種率です。

子宮頸がんはワクチンによって予防が可能ですが、日本の HPV ワクチン接種率は 1.9% と、欧米に比べて非常に低いのが現状です。日本では、2013 年に HPV ワクチンの定期接種が始まりましたが、接種後の副反応報告から積極的な勧奨が一時控えられていました。しかしその後、厚生労働省が検討した結果、HPV ワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ることを認められ、2022 年から積極的な接種勧奨が再開されています。

現在は、小学校 6 年・高校 1 年相当の女子を対象に、HPV ワクチンの接種が公費で提供されています (定期接種を逃してしまった方への「キャッチアップ接種」あり。3 ページ上記参照)。

性能があるため、「誰でも一生に一度は感染する」と言われています。ただ、感染しても多くの場合は、その人の免疫力によって排除され自然消失します。

ところが、二〇〇種以上の型がある HPV の中のリスクが高い型のウイルスが女性に感染し、それが自然に排除されことなく感染が長期化すると、子宮頸がんの発症につながります。

【HPV ワクチン接種の対象者】

●定期接種

令和 5 年度に小 6 ～高 1 生相当の女の子

●キャッチアップ接種

HPV ワクチン接種を個別にすすめることを控えられていた期間に、定期接種の対象年齢だった方で、接種機会を逃した方を対象に実施する予防接種を「キャッチアップ接種」といいます。

＜接種対象要項＞

- ・平成 9 年(1997 年) 4 月 2 日～平成 18 年(2007 年) 4 月 1 日生まれ的女性
- ・過去に HPV ワクチン接種を 3 回終えていない方
- ※このほか、平成 19 年度生まれの方は、高校 1 年相当を超えても接種できます。

●任意接種

上記接種対象の方以外でも全額自己負担で接種できます。お近くの医療機関にお尋ねください。

2023 年 4 月から 9 価ワクチンも
公費(自己負担なし)で受けられ
るようになりました。



定期接種を逃して
しまった方も公費で
接種できるんだっ



【ワクチンの接種方法】

ワクチン接種は全部で 3 回(2 回※¹)。一定の間隔をあけ、原則として同じワクチンを 3 回(2 回)接種します。

※気になる症状が現れた場合は、次の接種をやめることができます。

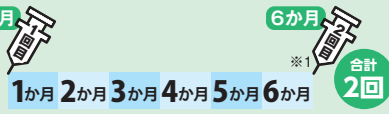
※報告されている副反応は、痛みや腫れ、頭痛などです。詳しくは、医師にお尋ねください。



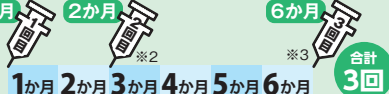
ワクチンの種類に
よって、接種回数
や接種のタイミング
が異なりますので、
ご注意ください。

シルガード®9

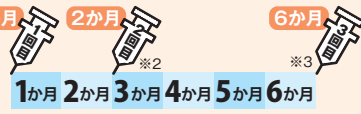
1 回目の接種を
15 歳になるまでに
受ける場合



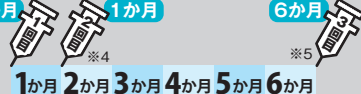
1 回目の接種を
15 歳になってから
受ける場合



ガーダ シル®



サーバ リックス®



これら 3 種類のワクチンは、いずれも 1 年以内に接種を終えることが望ましい、とされています。

※ 1: 1 回目と 2 回目の接種は、少なくとも 5 か月以上あけます。5 か月未満である場合、3 回目の接種が必要になります。 ※ 2・3: 2 回目と 3 回目の接種が、それぞれ 1 回目の 2 か月後と 6 か月後にできない場合、2 回目は 1 回目から 1 か月以上 (※ 2)、3 回目は 2 回目から 3 か月以上 (※ 3) あけます。 ※ 4・5: 2 回目と 3 回目の接種が、それぞれ 1 回目の 1 か月後と 6 か月後にできない場合、2 回目は 1 回目から 1 か月以上 (※ 4)、3 回目は 1 回目から 5 か月以上、2 回目から 2 か月半以上 (※ 5) あけます。

厚生労働省「小学校 6 年～高校 1 年相当の女の子と保護者の方へ大切なお知らせ 詳細版」より改変

▼子宮体がんとは？

子宮体がんは、妊娠した時に胎児を育てる子宮体部の内側を覆っている子宮内膜に発生するがんで、こちらも日本で増加し続けているがんの一つです。

病名に子宮という言葉がついていることから、子宮頸がんと似ているように誤解されがちですが、全く別の病気で、子宮体がんの原因の多くは、女性ホルモンの乱れにあります。

女性ホルモンには、子宮内膜の増殖を促す「エストロゲン」と、その逆に子宮内膜の増殖を抑える「プロゲステロン」があります。何らかの原因でこの二つのバランスが崩れ、エストロゲンの働きばかりが過剰となり、子宮内膜が異常に増殖して、子宮体がんになりやすい状態になり、発症します。

代表的な症状は不正出血で、早期からほとんどの人に現れます。進行するにつれ、排尿時

HPV ワクチンは、HPV 感染を予防するためのものであり、感染した HPV を治療する効果はないため、初めての性交渉前に接種しておくことが望ましいとされています。

ただし、ワクチンを受ければ 100% 子宮頸がんを防げるというわけではないため、20 歳以降は、2 年に 1 回の子宮頸がん検診が推奨されています。

子宮頸がんは、感染してから発症するまでに数年～数十年かかります。がん化する前の「前がん状態(異形成)」で見えれば、子宮頸部の一部を切り取る手術(円錐切除)で子宮を残すこともできるため、定期的な検診がとても重要です。

■ 子宮体がんについて

子宮体がんの原因の多くは、エストロゲン（^{らんぽう}卵胞ホルモン）に関わりがあります（頻度は少ないですが、エストロゲンとは関係のないタイプもあります）。

がんができる場所が
違うだけじゃなくて、
全く違う病気なんだ
ビッ…

【子宮体がんになりやすい状態】

正常な状態

エストロゲンとプロゲステロンの
バランスが保たれている。

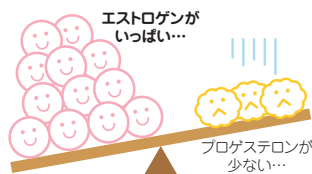
- 😊 エストロゲン（卵胞ホルモン）
子宮内膜の増殖を促す働き
- 😊 プロゲステロン（黄体ホルモン）
子宮内膜の増殖を抑える働き



子宮体がんが発症しやすい状態

エストロゲンとプロゲステロンの
バランスが崩れる。

プロゲステロンの分泌が減り、エ
ストロゲンの働きばかりが過剰となる。



一般的な市民検診の子宮がん検診
は、「子宮頸がん検診」のことをさし
ます。

子宮体がんの検査は、子宮内膜細胞
診となり、何らかの自覚症状が出た
ときに受けるため、自覚症状を見落
とさないことが、早期発見の大切な
カギとなります。気になることがあ
ったらすぐに医師に相談してください！

いつもと違う、
と感じたら婦人科
に行きたいビッ



【頸がん・体がんの比較】

	子宮頸がん	子宮体がん
発生場所	子宮の入口付近(子宮頸部)	子宮の奥(子宮内膜)
原因	95%以上がヒトパピローマ ウイルス(HPV) など	主に卵胞ホルモン(女性ホル モン) など
患者数が多い 発症年齢	25～40代	40～60代の閉経前後に 多い
患者数の推移	死亡数が増加傾向に推移し ている	子宮がん全体の30～40% くらいに増加傾向(以前は 10%程度)
初期症状	無症状	初期は、痛みは無いが、不 正出血の症状が最も多い
予防ワクチン	3回(2回)のワクチン接種	なし

【発症リスクが高いと言われている方】

- ・ 妊娠出産経験が無い
- ・ 月経不順(無排卵性月経周期)
- ・ 閉経が遅い
- ・ 肥満(脂肪でもエストロゲンがつくられ
ているため)、糖尿病、高血圧
- ・ 近親者に乳がん・大腸がんを患った方が
いる



【進行時の症状】

- ・ 下腹部痛
- ・ 下肢の浮腫や痛み
- ・ 排尿、排便障害



の痛みや排尿のしにくさ、性交時の痛み、おり
ものの異常や下腹部痛などが現れます。
発症は40歳以降から増え始め、最も多いの
は50～60代です。子宮内膜は生理がくれば自然
とはがれて排出されるため、閉経前での子宮体
がん発症は少ないものの、最近では40歳未満の
患者さんも徐々に増えているので注意が必要
です。

危険因子として、肥満、糖尿病、高血圧、高
脂肪高カロリー食の嗜好、月経不順、不妊、
未産婦などが挙げられます。

自治体が「子宮がん検診」として実施して
いる検診の多くは、子宮頸がんを見つけて
めのもので、子宮体がんの検査は含まれて
いません。

ですが、子宮体がんは早期に発見して治療
を始めれば、経過の良いがんです。違和感
があるのに「更年期だから仕方ない」と片付
けてしまったりせず、気になることがある方
は、早めに婦人科を受診することをお勧めし
ます。

